

貸借対照表

2023年12月31日現在

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【流動資産】</b>	<b>【 1,887,564 】</b>	<b>【流動負債】</b>	<b>【 1,904,497 】</b>
現金及び預金	300,605	買掛金	74,619
売掛金	262,580	短期借入金	1,000,000
商品及び製品	983,953	未払金	356,387
前渡金	119,942	未払法人税等	14,862
前払費用	47,574	前受収益	435,562
未収消費税等	154,786	その他	23,065
その他	18,121	<b>【固定負債】</b>	<b>【 132,545 】</b>
<b>【固定資産】</b>	<b>【 785,878 】</b>	長期前受収益	132,545
(有形固定資産)	( 147 )	<b>負債合計</b>	<b>2,037,042</b>
工具器具備品	147	<b>純 資 産 の 部</b>	
(無形固定資産)	( 774,515 )	<b>【株主資本】</b>	<b>【 636,400 】</b>
ソフトウェア	689,031	<b>【資本金】</b>	<b>【 2,409,900 】</b>
その他	85,483	<b>【資本剰余金】</b>	<b>【 2,429,900 】</b>
(投資その他の資産)	( 11,215 )	資本準備金	2,429,900
関係会社株式	9,154	<b>【利益剰余金】</b>	<b>【 △4,203,399 】</b>
長期未収入金	408,516	その他利益剰余金	△4,203,399
その他	2,061	繰越利益剰余金	△4,203,399
貸倒引当金	△408,516	<b>純資産合計</b>	<b>636,400</b>
<b>資産合計</b>	<b>2,673,443</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>2,673,443</b>

損 益 計 算 書

(2023年1月1日から2023年12月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額	
<b>【売上高】</b>		1,858,752
<b>【売上原価】</b>		1,739,629
売上総利益		119,122
<b>【販売費及び一般管理費】</b>		2,024,292
営業損失		1,905,170
<b>【営業外収益】</b>		
受 取 利 息	13	
為 替 差 益	8,427	
そ の 他	114	8,555
<b>【営業外費用】</b>		
支 払 利 息	2,784	
株 式 交 付 費	272	3,056
経常損失		1,899,671
<b>【特別損失】</b>		
子 会 社 株 式 評 価 損	657,306	
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	408,516	1,065,823
税引前当期純損失		2,965,494
法人税、住民税及び事業税	1,211	
法人税等調整額	152,159	153,370
当期純損失		3,118,864

## 個別注記表

自 2023 年 1 月 1 日  
至 2023 年 12 月 31 日

### 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

関係会社株式 移動平均法による原価法

#### (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品及び製品 総平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）

#### (3) 固定資産の減価償却の方法

##### ① 有形固定資産

定額法を採用しております。

##### ② 無形固定資産

市場販売目的のソフトウェアについては、見込販売収益に基づく償却額と、残存有効期間（3 年）に基づく均等配分額のいずれか大きい額を償却しております。

自社利用目的のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（3 年又は 5 年）に基づく定額法により償却を行っております。

#### (4) 引当金の計上基準

##### 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。なお、当事業年度末までの貸倒実績が僅少であるため、一般債権に係る貸倒実績率を零としております。

#### (5) 収益及び費用の計上基準

当社は、ポケットに関する企画・開発、販売及びその他のサービスの提供を行っており、主として自社及び他社オンラインショップ、アプリストア、および法人営業の販売チャネルを通じて顧客を獲得しております。主に製品を顧客に引き渡すこと、一定期間にわたりサービスを提供することを履行義務として識別しており、重要な収益及び費用の計上基準は次の通りです。

取引の対価は履行義務を充足してからおおむね 3 カ月以内に受領しており、重要な金融要素は含まれておりません。

##### 1. 製品の販売

製品を顧客に販売する取引については、顧客との契約に基づいて製品を引き渡す履行義務を負っております。当該取引については、出荷時から当該製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間であることから、製品の出荷時点で収益を認識しております。

##### 2. サービスの提供

当社は、ポケットの通信サービスを提供しており、顧客との契約に基づいて一定の期間にわたってサービスを提供する履行義務を負っております。当該取引については、一定の期間にわたり履行義務が充足されることから、サービスの提供期間に応じて均等に収益を認識しております。また、年額プランでダウンロードされたポケット同時通訳及びポケットアプリについては、顧客との契約に基づいて一年間にわたってサービスを提供する履行義務を負っております。当該取引については、一定の期間にわたり履行義務が充足されることから、サービスの提供期間に応じて均等に収益を認識しております。

なお、製品とサービスを一体として顧客に販売している場合には、それぞれを別個の履行義務として取り扱い、独立販売価格を基礎として取引価格の配分を行っております。

2. 会計上の見積りに関する注記

子会社株式の評価及び子会社への債権の評価

1 当事業年度の計算書類に計上した金額

(単位：千円)

	当事業年度
関係会社株式	9,154
子会社株式評価損	657,306
子会社に対する債権	555,727
同上に対する貸倒引当金	△408,516
貸倒引当金繰入額	408,516

2 識別した項目に係る重要な会計上の見積りの内容に関する情報

当社は、市場価格のない非上場の関係会社株式については、取得原価をもって貸借対照表価額としておりますが、発行会社の財政状態の悪化により実質価額が著しく低下したときは、回復可能性が十分な証拠によって裏付けられる場合を除き、評価損を計上することとしております。また、子会社に対する債権の評価については、子会社の財政状態が悪化し、債権の回収に重大な問題が発生する可能性が高い場合に、個別に貸倒引当金を計上することとしております。

当社が保有する関係会社株式は、2023年12月31日現在、実質価額が著しく低下しており、それらの将来の回復可能性を総合的に勘案した結果、子会社株式評価損657,306千円を計上しております。加えて、子会社に対する債権につき、債務超過相当額を回収不能見込額として408,516千円の貸倒引当金繰入額を計上しております。

当該見積りは、将来の不確実な経済条件の変動などによって影響を受ける可能性があり、見積りと異なった場合には翌事業年度の計算書類において、追加の評価損を計上する場合があります。

3. 貸借対照表に関する注記

(1)有形固定資産の減価償却累計額 125千円

(2)関係会社に対する金銭債権及び金銭債務

短期金銭債権	186,015千円
長期金銭債権	408,516千円
短期金銭債務	1,155,573千円

(3)保証債務

当社の親会社であるソースネクスト株式会社の銀行借入金2,469,840千円について、連帯保証人となっております。

4. 損益計算書に関する注記

(1)関係会社との取引高

営業取引による取引高	1,433,048千円
売 上 高	816,493千円
仕 入 高	454,994千円
販売費及び一般管理費	161,560千円
営業取引以外の取引による取引高	2,784千円

(2)子会社株式評価損

子会社であるPOCKETALK B.V.の株式に関して評価損365,805千円、POCKETALK Inc.の株式に関して評価損291,501千円を特別損失に計上しております。

(3)貸倒引当金繰入額

子会社であるPOCKETALK Inc.について財政状態等を勘案し、長期未収入金に対する貸倒引当金繰入額408,516千円を特別損失として計上しております。

5. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度の末日における発行済株式の種類及び総数

株式の種類	当事業年度 期首の株式数	当事業年度 増加株式数	当事業年度 減少株式数	当事業年度末の 株式数
普通株式(株)	118,549	650	—	119,199

(注) 普通株式の発行済株式総数の増加650株は、第三者割当増資による新株発行に伴う増加であります。

6. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

① 金融商品に対する取組方針

当社は、資金運用については、短期的な預金等に限定し、また、資金調達については親会社からの借入を金融商品に対する取組方針としております。

② 金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

営業債権である売掛金及び長期未収入金は、顧客の信用リスクに晒されています。当該リスクに関しては、当社の与信管理規程に従い、取引先ごとの期日管理及び残高管理を行うとともに、主な取引先の信用状況を適宜把握する体制としております。

営業債務である買掛金、未払金は、そのほとんどが1年以内の支払期日です。未払法人税等は、そのほとんどが2ヵ月以内に納付期限が到来するものであります。

借入金は、主に製品開発投資、運転資金に係る資金調達であります。

営業債務、未払法人税等、借入金は、流動性リスクに晒されていますが、当社は、適宜資金繰計画を作成するなどの方法により管理しております。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

① 2023年12月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。また、「現金及び預金」、「売掛金」、「前渡金」、「未収消費税等」、「買掛金」、「短期借入金」、「未払金」、「未払法人税等」については、現金であること及び短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

(単位：千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
長期未収入金	408,516		
貸倒引当金(※)	△408,516		
	—	—	—

(※) 長期未収入金に個別に計上している貸倒引当金を控除しています。

② 市場価格のない株式等の貸借対照表計上額は、以下のとおりであります。

区分	貸借対照表計上額
非上場株式	9,154千円

7. 関連当事者との取引に関する注記

(1) 親会社及び法人主要株主等

種類	会社等の名称 又は氏名	事業の内容 又は職業	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円) (注)1	科目	期末残高 (千円)
親会社	ソースネクスト株式会社	パソコン・スマートフォンソフトウェアおよびハードウェア製品の企画・開発・販売	被所有 直接 83.89%	当社製品の販売 製品の仕入 業務の委託 資金の借入 資金の返済 利息の支払(注)2 債務の保証(注)3	当社製品の販売	461,641	売掛金	33,504
					製品の仕入	453,090	買掛金	15,507
					業務の委託	62,739	未払金	137,281
					資金の借入 資金の返済	2,500,000 1,500,000	短期借入金	1,000,000
					利息の支払(注)2	2,784	未払利息	2,784
債務の保証(注)3	2,469,840	—	—					

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注) 1. 親会社であるソースネクスト株式会社との販売及び仕入取引に関して、市場価格等を勘案して取引条件等を決定しております。当該取引条件の決定はその内容に応じて当社取締役会または親子間取引に関する特別委員会(以下、当委員会)等において意思決定を行っております。親子間取引に関する取引条件については当委員会へ報告され、その妥当性について検証しております。
2. 借入金の利率については、市場金利を勘案して合理的に決定しております。
3. 同社の銀行借入金に対する債務保証であり、取引金額は2023年12月31日現在の債務保証残高であります。なお、保証料は受領しておりません。

(2) 子会社及び関連会社等

種類	会社等の名称 又は氏名	事業の内容 又は職業	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者 との関係	取引の内容 (注)1	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
子会社	POCKETALK Inc.	海外のソフトウェアや技術の発掘・契約交渉及び米国における当社製品の販売	所有 直接 100%	当社製品の販売 役員の兼任	当社製品の販売	347,831	売掛金	146,551
							長期未収入金(注)2	408,516

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注) 1. 市場価格等を勘案して取引条件等を決定しております。
2. 長期未収入金については、貸倒引当金408,516千円を計上しております。

8. 収益認識に関する注記

顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報

「1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記 (5)収益及び費用の計上基準」に記載の通りです。

9. 1株当たり情報に関する注記

- |                |            |
|----------------|------------|
| (1) 1株当たり純資産額  | 5,338円98銭  |
| (2) 1株当たり当期純損失 | 26,308円21銭 |

10. 重要な後発事象に関する注記

借入金の借換

当社は、親会社であるソースネクスト株式会社との間で、2024年1月30日付で資金調達を実行し、既存の借入金1,000,000千円の返済を行いました。

資金使途	: 運転資金
借入金額	: 1,500,000千円
借入実行日	: 2024年1月30日
最終弁済期限	: 2024年3月31日
適用利率	: 1.087%